

おめでとう「会報400号」!!



第400号
発行所 山形県
山形市 山形
あだたら 編集
編集者 山形県

●編集部連絡先
二本松市本町1-1515
0243(22) 4245
Fax可 渡辺 正

会報400号に寄せて

あだたら山の会
会長 □□□□

会報が四〇〇号となりました。会員の皆さんが会の企画山行や個人山行などしているの、記事になり、会報が出来ます。新型コロナウイルス、まだまだ油断できません。対策をしっかりとした上で、山行致します。そして会員の皆さんにどんな山行だったか、報告致します。次の山行の大変貴重な資料となります。

三〇〇号は十年前の二〇一三年九月号でした。募集山行「くろがね小屋に集まれ」の記事があります。今は新型コロナ感染症対策で、一般の人に呼びかけての募集山行など無理な状況ですが、事態が戻ったら企画致します。どこが良いか、どう募集すれば良いか、その材料になります。報告をたくさん下さい。

会報「あだたら」が昭和三十三年発行以来、六十四年もの長きに渡る広報活動ができたのも歴代広報担当者地道な努力と多くの会員に支えられてきた結果かと感じております。

コロナ過でまさかこのような社会変化が起こるなど諸先輩方も想像できなかったでしょうが今を生きる我々が会の伝統と歴史を受けて、継いで次の世代へと繋げて

当会には六十四年もの貴重なデータが蓄積されておられ、そこには多くの会員の協力があつたはず。それを無駄にする事なく自分たちの技術として取り込んでいき更なる会の発展を願って寄せる言葉とします。

二月十三日(日) 妙見山、(郡山・須賀山境) 報告 編集部



木の鳥居、□□さんと先行者



□□、雪は膝まで

妙見山はとても形の良い山で、三十年ほど前、仕事で二本松から会津へ通う(週に一度程)道すがら、一度は登ってみたいと思っていた山だった。この時期、本宮の高松山観音寺で毘沙門天の十二年に一度のご開帳もやっているの、帰りに立ち寄る事にした。

以前は出来たばかりの郡山バイパスから運転免許センター前を通っていたが、今回はもっと手前から長沼街道目指そうと、郡山市街に入る手前から西に向かってしまった。結局新しい道が一杯できていて迷ってしまった。市街地の西側をうろつくはめになって、結局は長沼街道の更に西側の新しい道には出たもの、変に疲れてしまった。それでも妙見山入口の看板には出会えた。ここからは山に入るの、早速雪道になる。同行した□□さんは先月の移ヶ岳で、氷道でスリップして半回転してしまつた。この道は狭く、落ちたら最後戻れないのは目に見えて居るので、慎重に進む。恐らく最後の民家、まだ上にタイヤ痕があるので更に登る。右側に下向いて一台止まっている、登山者のものらしいが更に上る、右側に一寸広いおそらく駐車場、タイヤ痕はさらに上まで続くが、道は針葉樹林で暗く、道も細くなっているし、ここで駐める事にした。後で

□□さんが「ここが石の鳥居だ」という、案内図見たら、「登山口」だった。十時二十七分、登山開始。雪はあるが、靴は濡らない、その程度。先行者の足跡もある、壺足だ。道幅は広く、林道歩きを感じ。その内雪面に「カモシカ」の足跡見付けた、牛蹄類だから、二本爪で正に牛の足跡だ。更に登って針葉樹林抜けて広葉樹になって左側の木に「注連縄」、十時四十四分。このちよつと先から、先行者の足跡スノーシューになった。確かに足首までは潜るようになって来た。やがて右に広い平地、恐らく駐車場。この上に木の鳥居、雪の深さは膝くらいまで、先行者の足跡辿るから、そこまでは濡らない。が、外れると膝までのラッセル。水分含んだ柔らかい雪、大袈裟だが、死ぬ思いだ。一時、木の鳥居到着。先行者に出会った。山頂まで行って来たという、スノーシューだ。一時間程掛かつたと言っていた。往復だろうけどキツイ。スノーシューで一時間だったら壺足だったらどうなるか。先月移ヶ岳九九五m、雪それ程深くなかった。妙見山七七八mそれ程深くないだろう。しかし深かった。移ヶ岳の西側は中通りの平地、妙見山の西側は猪苗代湖のある高地、雪深い訳だった、甘く見過ぎていた。



長沼街道から見た妙見山のイメージ、「カシミール」で作成、高さ2倍に強調したが、こんな感じに見える。×印が木の鳥居。

先行者下山してから、□□さんと話してここから下山する事にして、写真撮った。下山は早く十一時四十分、登山口到着。先行者と話ししていた猟師の人と少し話、猟の手入れに来たという。猪はもうこのあたりにはいない、病気のせいだ、という。

次は、本宮の高松山観音寺。郡山市街に出ればいいのだから迷うことはない。バイパスに出て、本宮ICから右に入ったが、通行止めの標識。大きく迂回して、結局は平成大橋渡って、観音寺の駐車場。十二時半。ここで昼食にして、十二年に一度のご開帳の薬師堂の毘沙門天様にお参り。毘沙門天様の御守り札頂いた。毘沙門天様は、本専薬師如来の向かって左の脇侍だ。本専薬師様異国風のお顔で、大玉村相応寺薬師堂の薬師如来様と、同じ系統に見える、薬師十二神将なども揃っている同じ考え方で作られている感じだ。そこから、更に登って元奥ノ院だった高松神社、更に進んで、阿武隈川を望める展望広場の端、麓から山頂まで望める安達太良山、手前に阿武隈川、これが一緒に撮れるのは此処だけ、貴重な場所だが、雑木林が大きくなって、阿武隈川綺麗に見えない。二〇〇九年に撮った写真は実に見事、送電線が邪魔。一番高い三角点のある月山神社、木立で見通し悪い。午後二時には駐車場に戻った。

一月三十日(日)

一月山行、移ヶ岳(船引町) 報告 編集部



霞ヶ城公園から撮影した移ヶ岳、矢印が瑞峰平駐車場

午前八時、〇〇宅脇の駐車場集合、〇〇さんとは登山口で合流予定。二人だけなのでの〇〇さんが来たら出発。市役所脇を通過し、阿武隈川沿いに出、菅田橋を渡るうとして杉田駅迄行って戻って、長者宮橋、唐木神社菅田橋過ぎて少し走って、何度も通った道なのに、自信がなくなっ

て、グーグルマップのナビ起動した。瑞峰平駐車場指定出来るので、とっとも楽なのだ。実は夕べからの降雪、あちこちにあつて、滑らずに走るのに気を取られて、道案内、疎かになりがちだった。おかげで、移ヶ岳麓の美山小を無事通過、地図では「石畑前」と表示されている部落を抜け、所々の雪道も通過、さあ後少し、という最後のヘアピンカーブ、車が滑ってしまっ

た。ブレーキ使ってはいけないのにブレーキ踏んだ、更に滑って、斜めになって、その儘道を下る、有り難いことに、道に直角になって止まった。午前九時だ。道を見てみると雪の下、道全体がブルーアイス状態。撒ける砂もないようで、諦めて下る事にして、〇〇さんに電話、出なかったが、道表面のタイヤ痕、荒れていて何台かここで登れなかったことあったようだ。下り初めて少し下がったら、下から登って来る人がいた、山支度だ。話聞いたら矢張り車では登れなくて、下に車置いて、歩いて登山口まで行くという。更に下って、道路脇に車が二台止まっている場所があり、そこに止める事にした。何処に止めるか、色々やっている内、一台の車、人が帰ってきた

ようで、後ろの扉開いた。言って話してみたら、矢張り登れず此処に止めた、山頂まで行って写真撮ってきた、雲の中だった。昇っている人何人かいたがみんなアイゼン付けていた。その内その人居なくなつたので、そこに車止めて出発した。アイゼンは無し、ピッケルは突いた。九時三十分だ。途中には現役の「桑の木」の畑があった。滑って登れなかった場所も通過。とにかく雪の下はブルーアイス状態、とにかく滑る。アイゼン付けた方が良かったかも知れない。

十時二十分瑞峰平駐車場到着、四十五分の氷の張った雪道歩きだった。駐車場には一台もいなかった。早速登山開始、十時三十六分、移ヶ岳神社、お参り。続け

て登山、さっき出会った方が下山してきた。長靴だ、アイゼンは使わなかった、山頂直下の「ロープ場」大変だが、と言う話。採石場跡分岐十一時二分。さらに登って一寸平らになって、ここからが「ロープ場」、太いロープで回子もしっかりして滑らない。一箇所目上り終るとおちよっと平らになって二箇所目の終りが山頂だ。先程までかかっていた雲は晴れていて、正面に小首かき上げて鎌倉岳、振り返ると中通り平原。安達太良山は薬師岳より上は雲の中。日山羽山木幡山がよくわかる。山頂到着十一時二十四分、瑞峰平登山口からは一時間四分。途中の積雪膝まで潜る場所は無かった。山頂では写真撮って直ぐ下山、途中〇〇は「ロ

ープ場」で二回滑って転んだ、ピッケル突いていて良かった。〇〇さんは一回も転ばなかった。途中で知人と登って来た〇〇さんに会う。瑞峰平駐車場迄登れたらしい。瑞峰平着十二時十分、駐車場には二台の車、〇〇さん達の分だろう。少し下がったら、軽自動車上がって来た。登山者ではない。直ぐ下がっていった。滑った場所最後のヘアピンカーブに来たら、砂時かかれていた。さっき登って来て、下がった車が時いたのかも知れない。十二時四十五分、車置いた場所着。三十五分で到着。全行程三時間九分、登山口から山頂往復一時間四十九分、道歩き一時間二十分でした。

帰りも途中までは記憶で走って、途中からナビ利用、小浜に出て、十三時五十分には、無事〇〇宅まで戻りました。一六、一八七歩でした。

帰りの途中までは記憶で走って、途中からナビ利用、小浜に出て、十三時五十分には、無事〇〇宅まで戻りました。一六、一八七歩でした。

帰りの途中までは記憶で走って、途中からナビ利用、小浜に出て、十三時五十分には、無事〇〇宅まで戻りました。一六、一八七歩でした。

帰りの途中までは記憶で走って、途中からナビ利用、小浜に出て、十三時五十分には、無事〇〇宅まで戻りました。一六、一八七歩でした。



移ヶ岳登山道、滑ったのは最後の急なヘアピンカーブ



11時25分、移ヶ岳山頂



10時21分、瑞峰平登山口



雄大な安達太良山100選(みんなで、選びましょう!、募集中!)
高松山観音寺奥ノ院(高松神社)、裏からの安達太良連峰、2009-12-15の撮影。



クラウドファンディングに参加、届いた裏磐梯の御守り狐。

裏磐梯から「守り狐」

報告 □□□□



本宮の高松山観音寺、12年に1度のご開帳。毘沙門天様が納められているのはこの薬師堂。

昨年六月の例会通知でお知らせした、裏磐梯エコツアーリズム協議会のクラウドファンディング、私は、支援させて頂きました。七月会報では、成立の知らせがあったこともお知らせしました。

一月末に、「裏磐梯の守り狐」が送られて来ました。鼻の先が青、鼻筋が金色で、目尻の赤い色が可愛いです。

『第十回ふくしま特産品コンクール奨励賞受賞、北塩原の村民が村内から採取される間伐材を利用し、ストラップを編み、心を込めて作ります。』



今年撮影禁止だったので、12年前のご開帳の様子。

◆□□□□さん ニ〇二二年二月三日、福島民報投書欄「みんなのひろば」沖繩の基地問題、国民の議論必要

◆個人山行の記事下さい、メールだと有り難いのですが、手書きも歓迎、FAXも受信できます。

編集後記

四〇〇号

元会員の□□□□さんが亡くなられました。若宮の□□金物店店主で、私□□は先輩会員に連れられて訪問。「番線」、「土囊袋」「トラロープ」「かすがい」等の登山道整備材料を(市役所の附けで)購入していました。昨年も番線、土囊袋を購入。朝早くから恐らく七時頃から店明けているので、当日奥岳八時集合でも土囊袋など材料購入できました。大変御世話になったものです。ご冥福をお祈りします。

〇21日

さん 74

金物店主 二本松市若宮一丁目196。通夜24日午後6時30分。告別式25日午後2時。ともに二本松斎場。要()さん(丸文)

2022. 2. 24

訃報